

静岡県内の「みなとニュース」を紹介します

みなとしみず

SINCE 1990.6

発行



国土交通省 中部地方整備局

清水港湾事務所

静岡市清水区日の出町7番2号

TEL 054-352-4146(代表)

御前崎港事務所

下田港事務所

田子の浦港事務所

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は、弊所が実施しております静岡県内港湾の整備、振興にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございました。

昨年は、一昨年に引き続き、清水港のクルーズ船寄港数は過去最多となり、御前崎港、松崎港、伊東港にもクルーズ船が寄港しました。また、「第16回みなとオアシスSea級グルメ全国大会inあおもり」では、みなとオアシス沼津の「沼津あじフライたるたるサンド」が大賞をとるなど、「みなと」から始まる賑わいの高まりを感じる年でした。

今年は、穏やかな年明けとなりましたが、不安定さを増す国際情勢の中で、安定的かつ効率的な物流の維持・構築の重要性、いずれ来たる南海トラフ巨大地震に対する防災・減災対策の重要性が高まっていると感じています。

弊所としましては、本年も引き続き、地域産業を支える港湾整備、港湾の賑わい創出、港湾の防災・減災対策、命のみなとネットワークの形成、港湾分野の担い手育成などに全力で取り組んでいく所存でございます。どうぞ、本年も何卒よろしくお願ひいたします。

清水港湾事務所長 出水 孝征

世界一周クルーズ中の「アイーダ・ディーバ」が清水港に初寄港しました！



クルーズ船「アイーダ・ディーバ」と日の出埠頭

1月16日に、アイーダ・クルーズ社所有のクルーズ船「アイーダ・ディーバ」が清水港に初寄港しました。日の出埠頭では初寄港を記念して歓迎式典が開催されました。

本船は大きな目玉と唇が特徴的な外装をしており、全長は251m、総トン数は約7万トン、乗客定員数は約2,000人です。

今回のクルーズでは、昨年11月10日にハンブルグ(ドイツ)を出港し、カナダ、米国、ポルトガル、日本、台湾など133日間の日程で運航しています。アイーダ・ディーバは16日夜に清水港を出港し、翌17日は神戸港に寄港しました。



歓迎式典の様子

半島部や離島などの災害に備えています！



港湾業務艇を用いた物資輸送の様子

令和7年11月28日、清水港湾事務所は下田港及び伊豆半島南部の広域物資輸送拠点において、静岡県、沼津河川国道事務所、静岡県トラック協会等と海陸連携した緊急物資輸送訓練を実施しました。

令和6年に発生した能登半島地震では、主要道路が被災し、港湾を活用した海路による輸送が重要な役割を担いましたが、地形的に類似した伊豆半島においても、同様の状況が想定されます。

そのため、訓練では清水港で緊急物資を載せた当事務所の港湾業務艇が、防災拠点港湾である下田港へ入港する想定のもと、実際に港内の耐震岸壁に接岸し、緊急物資をトラックへ積込み、広域物資輸送拠点への運搬を行いました。

当日は強風・高波という悪条件のもと、接岸場所や接岸方法等について、詳細な検討を行いながら進める有意義な訓練となりました。

引き続き、清水港湾事務所は災害対応力向上のため、陸上輸送との連携を含めた関係機関・団体との海上輸送訓練に取り組んでいきます。

田子の浦港における災害時初動対応に向けて覚書を締結しました！



田子の浦港管理事務所 青木所長(左)と出水所長(右)



訓練の様子

令和7年12月4日、清水港湾事務所は静岡県田子の浦港管理事務所と「災害発生時の初動対応の協力に関する覚書」を締結しました。

覚書の締結により、国有港湾施設は国が、それ以外の施設は県が対応することを基本としつつ、被災状況に応じて国有施設・県有施設に関わらず、国・県の合同チームで被災状況調査等を行うことが可能となり、これまで以上に合理的かつ迅速な初動対応が可能となりました。

なお、本覚書署名式の後、例年実施している田子の浦港BCP訓練(田子の浦港防災対策連絡協議会主催)において、覚書の内容を踏まえた訓練を実施し、初動対応の確認を行いました。

東海大学にて「海洋政策」の講義を行いました！

清水港湾事務所は、持続可能で活力ある国土・地域づくり及び地域社会への貢献に向けて、東海大学 静岡キャンパスと相互に連携・協力するため、令和5年3月24日に協定を締結しました。

協定に基づく「海洋政策」の講義は令和5年度より実施されており、今年度は事務所職員の他、建設会社や建設コンサルタントといった民間企業の方も講師として登壇し、港湾物流の重要性や港湾整備への理解を図りました。

若手職員による講義

令和7年12月4日に実施された講義では、出水所長による講義の他、若手職員3名が登壇し、自身の経歴や業務内容について紹介しました。



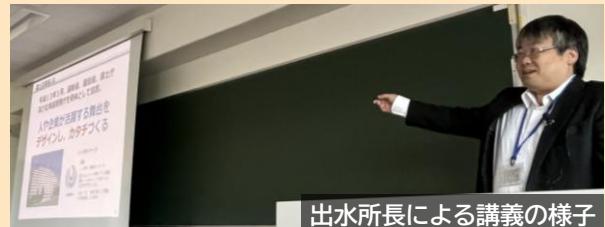
工務課
宮川 優樹
(入省1年目)



保全課
磯谷 昇吾
(入省5年目)



企画調整課
三浦 陸
(入省1年目)



出水所長による講義の様子

清水港の見学会

講義の一環として、履修学生を対象とした見学会を1月15日に実施しました。

新興津コンテナターミナルでは事務所職員による清水港の概要説明を受けたほか、ターミナル内の荷役作業を見学しました。

また、停泊中の清水海上保安部巡視船「おきつ」にも乗船し、これらの見学会を通じて、講義で学んだ港湾物流や海上保安業務について現場の理解を深めてもらう機会になりました。



室内での説明を受けた後は、実際にコンテナターミナル内へ降りてガントリークレーンを間近で見学しました！



清水港の概要説明



室内からターミナル内を見学



清水海上保安部巡視船「おきつ」

掛川市の小学校で港について紹介しました！

令和7年12月9日、掛川市立中央小学校にて、事務所職員を講師に、港の施設や様々な船、港で働く人の仕事について紹介する出前授業を実施しました。

当日は小学5年生の児童約90名が参加し、「清水港で取り扱われている品物は何ですか？」との質問に、「小麦！」や「自動車！」など元気よく回答くださいました。



出前授業の様子

田子の浦ポートフェスタ2025が開催されました！

令和7年12月14日、清水港湾事務所は富士市にて実施された本イベントに、消波ブロック模型のブロック積み体験や防波堤模型を出展しました。

来場した子供たちに港の仕事を知つてもらう良い機会となったと思います。



ブロック積みの様子、制限時間の1分間で積み上げた数を競います！

当日は清水海上保安部巡視船「おきつ」の展示やフォーキリフト荷役体験などにも多くの人が訪れました。

お詫びと訂正

第165号 3ページに掲載しました「新たな賑わい施設へアクセスできる歩道橋が設置されました！」の位置図につきまして、施設の位置に誤りがございました。正しい位置は右図の通りです。

第165号につきましては、令和7年12月5日に訂正版を事務所HP上に公開しております。読者の皆様ならびに関係者の皆様にお詫び申し上げます。



位置図(訂正版)

■お問い合わせ先■

清水港湾事務所 企画調整課
TEL 054-352-4148
pa.cbr-shimizukouwan@mlit.go.jp

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。
清水港湾事務所では、学校、企業、自治会の皆様を対象に、みなと見学会を実施しています。
詳細は右記の事務所HPをご覧ください！

事務所HP(QRコード・URL)



<https://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

今年度最後の「みなとみしづ」をお届けしました。
今後も皆さんに港について更に知つていただけるよう、情報発信していきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。



海とみなとの相談窓口 全国共通フリーダイヤル(土・日・祝日は除く)
おーいに よくなれ みなど
0120 - 497 - 370
受付時間: 9時30分～12時00分
13時00分～17時00分